

就労継続支援A型は、雇用契約を結び給料を受給しながら施設を利用し一般就労を目指していきます。又、就労継続支援B型は、通所して授産的な活動を行いながら工賃を受給しA型と一般就労を目指していきます。A型とB型の主な違いは雇用契約を締結しているかということです。工賃については、A型もB型も支払われます。平成24年のデータによると就労継続支援A型の方の月平均の賃金は68,691円で時間給では724円でした。又、就労継続支援B型の方の月平均の賃金は14,190円で時間給では176円でした。まだまだ低い賃金水準ではありますが区としてもできる限りのサポートをしております。

4. 弁当等に関する食品販売のあり方について

都心オフィス街では昼食時の弁当需要が増加したため弁当を路上で陳列販売する業者が増加しています。

これらの屋外かつ施設を有しない行商による弁当の販売については、温度管理不備等の衛生上の問題が懸念されるようになりました。そのため、東京都食品安全審議会において、弁当等の食品販売の規制の在り方を検討することとなり、平成26年2月14日に答申が出されました。

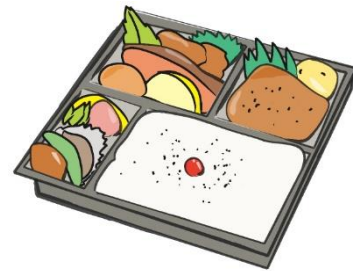
変更内容は、現在の届出制から許可制になります。又、衛生管理徹底のため、保冷容器の使用や所定の講習を受けた食品衛生責任者を置くことを義務づけます。

違反した業者は営業停止などの行政処分の対象となります。

この規制は、もちろん食品の安全確保が第一の目的ではありますが、その他に道路の占有の問題や固定店舗への営業妨害といった苦情の声も上がっていたようです。区内では届け出により弁当等を販売している事業者が平成24年は63件、25年は42件、26年は56件でした。この数字を見ますと、いかに路上販売業者が無許可で販売をしていたかが見て取れます。

しかし、食の安全を確保するには、人の口に入るものを販売する者の責任としてしっかりと法律を守って弁当等の販売を行ってほしいものです。

意見としては、無届事業者が多いので無届、無許可で弁当販売を行っている事業者には、しっかりと許可をとり責任の所在が明らかになるような対応をとってほしいと要望を致しました。



5. 健康づくり事業について

健康日本一を目指している渋谷区は「渋谷区健康増進計画」に基づいて区民一人一人が主体的に健康づくりに取り組めるよう一日の野菜摂取量の目標量350グラムを把握するための事業を展開していきます。

その第1歩として、平成27年6月6日(土)にハチ公前で野菜手ばかり体験等を行いました。今後は、1年を通して健康フェスタや区民の広場などでも実施をしております。

意見として、区民部は地域住民が何曜日、何時頃どの場所に集まりやすいかを知っているのでこうした情報を入手して、区民の皆様が大勢集まる場所での開催と、地域の八百屋さんなどと連携をして野菜の販売も行ってほしいと要望を致しました。



民主党渋谷区議団

渋谷区議会議員



吉田かよこ

【住所】：〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-38-6-306

☎03-3373-7167 / FAX03-3373-7165

✉kayoko@ia7.itkeeper.ne.jp

吉田かよこ プロフィール

1962(昭和37)年9月生まれ

小学校2年まで仙台白百合学園小学校で学ぶ

父の転勤で、東京に戻り小学校3年より桐朋小学校に編入

桐朋女子中学校・高等学校卒業

日本大学理工学部数学科卒業

平成元年税理士資格を取得

現在、渋谷区議会議員 吉田佳代子税理士事務所の所長でもある

趣味 ヨガ、旅行



福祉保健委員会のご報告

平成27年4月に行われました統一地方選挙後、私は福祉保健委員会の所属となりました。高齢者・障害者に対する施策、健康に関することなど多岐にわたって審査をしております。下記に6月以降に福祉保健委員会の中で審査があった案件についてご報告を致します。

1. 特別養護老人ホームの入所希望者数について

平成26年8月1日から27年1月31日までの間の特別養護老人ホームへの入所希望者数についての報告を受けました。下記が区内施設ごとの定員、実際に入所できた方、入所を希望されている方の人数です。



施設名	定員	平成26年度中の入所者数	希望者数
けやきの苑・西原	120人	32人	143人
あやめの苑・代々木	70人	25人	130人
つるとかめ	50人	11人	85人

パール代官山	50人	13人	98人
美竹の丘・しぶや	127人	32人	236人
レクロス広尾	110人	23人	197人
杜の風・上原	80人	41人	216人
総合コミュニティ・せせらぎ	24人	3人	93人
合計	631人	180人	1,198人

区内施設希望者数の合計は1,198人で、この中には複数の施設へ希望を出されている方もおりますので**希望者実数は694人**でした。

26年10月1日現在の希望者実数が670人でしたので、区内施設の希望者は24人の増加となりました。

その他区外施設への希望者実数は14人でした。区内区外合わせて合計**708人**の方が特別養護老人ホームへの入所をお待ちになっています。

下記は介護度別の入所希望者数です。

介護度	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	合計
希望者数	100人	144人	180人	160人	124人	708人

区内施設への新規入所者の介護度別の人数は下記の通りです。

介護度	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	合計
入所者数	43人	83人	41人	9人	4人	180人

区外施設への新規入所者の介護度別の人数は下記の通りです。

介護度	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	合計
入所者数	12人	8人	12人	6人	3人	41人

さて、平成27年4月より介護保険法の改正により、特別養護老人ホームへ入所できる方は要介護3以上となりました。特別養護老人ホームの入所はポイント制となっていますので、今までは介護度が低い方でもポイントが高かったり緊急性を要する場合には入所をしていただくことができたのですが、このように一律に要介護3以上とする決め方は今後問題をひきおこすことになるでしょう。区としては今までとかわらず透明性と公平性を確保しながら入所者の選定を行うとのこと。下記は各施設で入所の際、最もポイントが低かった方のデータです。

施設名	ポイント数	介護度
けやきの苑・西原	100ポイント	2
あやめの苑・代々木	102ポイント	2
つるとかめ	102ポイント	2
パール代官山	82ポイント	2
美竹の丘・しぶや	86ポイント	3
レクロス広尾	90ポイント	1
杜の風・上原	70ポイント	1
総合コミュニティ・せせらぎ	105ポイント	3

前ページを見ていただくとわかるようにレクロス広尾と杜の風・上原では、介護度が1の方でも入所することができています。

意見として、国が入所要件を要介護3以上としたとはいえ画一的な決め方ではなく今後もお一人お一人の状況を鑑みて入所決定をしてほしいと要望を致しました。

2. 氷川敬老館跡地における障害者グループホーム整備事業者の選定結果について



氷川敬老館跡地（渋谷区東2-11-4）に知的障害者のためのグループホームが設置されることとなっていました。平成27年4月1日から5月8日までの間、事業者の募集を行い、5月20日に**認定NPO法人ぱれっと**が選定されました。

このグループホームは民設民営で、区としては建設費等1億円（上限）の補助と氷川敬老館跡地の無償貸与を行います。この1億円は東京都から補助金を受けることができます。

1億円のうち2,500万円が氷川敬老館の取り壊し費用にあてられます。

事業規模としては、7人が共同生活援助を受けることができます。その他短期入所の枠も1名分あります。

NPO法人ぱれっとは、障害者を雇用しクッキーの販売などの事業を行い20年以上の活動実績があります。そのため、現在渋谷区東3-19-9にある「おかし屋ぱれっと」と法人事務所も渋谷区東2-11-4に移転し、グループホームと就労継続支援施設B型（言葉の解説は3をご参照ください）を併設していきます。近隣住民から暖かい目で見守っていただける施設となることを期待するものです。

今後は7月に氷川敬老館の取り壊しを行い、10月に建設に着工、28年4月頃の開設を目指します。

しかし、こうした施設の設置は全ての近隣住民が歓迎するとは限りませんので、施設の解体や建設、事業者説明については地域住民に対し丁寧に行うこと、また、NPO法人ぱれっとは、地域の方々からも長年愛されてきており事業者としては安心だが、そうした時ほど落とし穴がひそんでいるので慎重に事業を進めていただくことなどを要望致しました。

3. 旧笹塚集会所における障害者就労支援施設の整備について



区民施設が笹塚駅前に機能移転をしたことにより、旧笹塚集会所については、障害者の福祉作業所に無償貸与することになりました。

このたび運営事業者として決定したのは**認定NPO法人ホープワールドワイドジャパン**です。現在は、渋谷区本町2丁目のまる福と言うお店で今川焼やクッキー、パンなどの販売を行っています。

移転後は、就労継続支援A型（菓子工房及びカフェ）20人、就労継続支援B型（縫製デザイン工房）20人の登録を予定しています。

さて、ここで就労継続支援A型とB型についてご説明申し上げます。